

御前崎市 地域医療を育む会

会報

第16号

令和4年4月

現在の会員数
一般 242名 協賛 16社
発行：御前崎市地域医療を育む会
TEL & FAX 0537-86-3718
ホームページ [御前崎市地域医療を育む会](#) 検索

会の目的

この会は、市民自らが、健康維持・増進を図るとともに地域医療に関する意識・理解を高めることにより、医療者等にとっても魅力のある地域とし、『地域医療の充実』および『安心した市民生活』に寄与することを目的とする。

医療スタッフへ 市民の声を！

市民の皆様から、たくさんのメッセージが寄せられましたので、関係の医療機関へお届けしました。

メッセージの一部を紹介します

・・・身近な所に開業医さんや総合病院があり、手術も経過観察も遠方までいかに通院受診出来、大変感謝しております。 T.S

・・・的確なご助言をいただき感謝しております。 Y.K

・・・不安いっぱい受診しましたが、先生の親しみある説明、又感じの良い看護師対応に不安は解消されました。あ～来て(受診して)良かったと思いました。 70歳女性

いつもやさしく、患者の気持ちを聞いて下さりありがとうございます。先生のお話を伺って本当にいやされました。 A.S



・・・リハビリスタッフの方との面談で、リハビリの様子を動画で見せていただきました。ここへ転院する時は歩けなくて車椅子だったのに、両手をふって歩いている動画を見てビックリしました。2週間でこんなに早く回復したのは皆様のおかげです。 S.M 家族一同

・・・病院にお世話になったことがなくビクビクしていました。先生も看護師さんもととても親切で本当に嬉しく思いました。 83歳女性

・・・看護師や事務の方たちもいつも明るく穏やかに接していただきありがとうございます。これからもよろしく願い致します。 M

数少ない医療従事者を大切に！！

住み慣れた地域で安心して暮らせることに、感謝と敬意を！！

感謝のメッセージカードは、各地区の役員にご連絡いただければお届けします。



参考データ

- 人口10万人当たりの医師数 (2021年11月現在)
御前崎市 125.39人 (中東遠地域 156.06人、静岡県 219.86人、全国 250.83人)
JMAP 地域医療情報システム 日本医師会
- 人口10万人当たりの看護師数 (2017年10月現在)
中東遠地域 581人 (静岡県 751人、全国 901人)
日本医師会総合政策研究機構 HP

2021年改訂版

「いざという時のために 上手なお医者さんのかかり方」のご紹介

日常生活のなかで、いつ怪我や病気になるか分かりません。いざという時のために、少しでもお役に立てればと小冊子を作成しました。ご活用をお願い致します。

● 内容紹介

医療機関の上手な利用

- ・「かかりつけ医」を持ちましょう
- ・夜間、休日等に具合が悪くなった
- ・こどもの救急対応
- ・御前崎市内の病院、診療所、助産院
- ・すぐに病院に行くべきか迷った時に

妊娠、出産、育児に関するお役立ちサイト

こころの相談窓口 みんなで感染症対策を 高齢者、認知症相談窓口 救急車を呼ぶとき

● 作成に協力いただいた皆様（順不同、敬称略）

市立御前崎総合病院、しろわクリニック、おはな助産院、市内診療所、御前崎市消防署、健康づくり課、高齢者支援課、こども未来課、福祉課

● 配布場所

各地区センターに置かせてもらいましたので、ご自由にお持ちください。
各地区の役員にご連絡いただければお届けします。



第3回 在宅医療・介護連携推進会議に参加して

令和4年2月3日(木)13時30分から、Zoomを用いたWeb会議に参加しました。この会議は「医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で最期まで自分らしく生活することができること」などを支援するため開催されています。

自分の命が危険にさらされる状態になると、約70%の人は医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えることができなくなると言われ、身近な人にとって大きな負担をかけることとなります。

このため、万が一にそなえ元気なうちに「未来ノート(エンディングノート)を書くこと」や「人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)を行う」ことをおすすめします。

未来ノート(エンディングノート)～私らしく生きるために～ のご紹介

自分の人生を振り返り、自分に関する情報を整理します。

● 内容

- ・第1章 わたしのこと
- ・第2章 もしもの時は
- ・第3章 エンディング
- ・第4章 大切な人たち
- ・第5章 財産について
- ・第6章 相談窓口

● 配布場所

- ・地域包括支援センター はまおか(市役所西館1階)、おまえざき(支所2階)



人生会議(ACP=アドバンス・ケア・プランニングの愛称)のご紹介



元気なうちに人生会議をおこない、自分の希望を予め伝えておけば、万が一の時に身近な人にかかる負担を軽減できるうえ、ケアや医療、生活の方針に、自分の希望が反映される可能性が高まります。

※人生会議 = あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組み.....参考資料：御前崎市地域包括支援センター

おまもり帳(高齢者ガイド)のご紹介 ~生活に役立つ最新情報満載~

● 内容

- ・相談窓口
- ・高齢者サービスの流れ
- ・げんき高齢者介護予防事業
- ・生きがい活動
- ・介護予防、生活支援事業
- ・介護保険サービス
- ・口の中を健康に保ちたい
- ・ひとり暮らしの方のために
- ・介護する家族のために
- ・外出するために
- ・物忘れが気になる
- ・権利を守ります
- ・その他の支援
- ・もしもの時のために「人生会議」
- ・在宅医療について
- ・医療機関への上手なかかりかた
- ・市内医療機関、薬局等一覧

● 配布場所

- ・地域包括支援センター はまおか(市役所西館1階)、おまえざき(支所2階)
- ・市内医療機関、薬局
- ・各地区センター



地域医療シンポジウムinきくがわ 「みんなで育む地域医療」を開催しました

令和3年8月22日(日)13時30分から、菊川市総合保健福祉センタープラザけやきにおいて、中東遠地域の地域医療を育む住民グループ、浜松医科大学地域医療学講座、県西部保健所主催によるシンポジウムを開催しました。

- 目的：全ての世代への「5つのか」活動の普及
- 講演1：『生命の源から地域医療を見つめ直す』
講師：菊川市立総合病院 院長 松本 有司 様
- 講演2：『在宅ケアって何だろう？ 地域で自分らしく生きちゃうゾ!』
講師：菊川市家庭医療センター 所長 松田 真和 様



- アンケートを紹介します
- 松本先生のお話「地域包括ケアシステムの基盤となる理念、ホスピタル・アイデンティティについて、明確に表明されていた。システム論としてはよく聞かすが、全ての人間の内面の変革の重要性に触れて感銘を受けました。」
- 松田先生のお話「一番印象に残ったのは、“在宅医療に覚悟は要らない！なんとかなるよ！医療、福祉、地域の力があればなんとかなる。とにかく頼ってみる。” 本当にそうだと思います。」

医療と介護の総合的な確保に向けてのシンポジウム 「医療と介護の上手な利用」を開催しました

令和3年11月20日(土)13時30分から、富士市文化会館(ロゼシアター)において、県内の地域医療を育む住民グループ、浜松医科大学地域医療学講座、静岡県主催によるシンポジウムを開催しました。

- 目的：日頃から在宅医療や介護に取り組む専門家の講演とディスカッション等を通して、地域包括ケアシステムを利用して在宅生活を中心に人生を最期まで過ごすために何が出来るか、参加者が自分事として考える機会とする。
- 基調講演：『在宅医療といのちの絆～自分らしく最期を迎えるために～』
医療法人社団裕和会 理事長 長尾クリニック 院長 長尾 和宏 様
- パネルディスカッション：『今から考えよう！最後まで自分らしく生きるために必要なこと』
パネリスト：医療法人社団裕和会 理事長 長尾クリニック 院長 長尾 和宏 様
静岡県訪問看護ステーション協議会 副会長 多田 みゆき 様
静岡県介護支援専門員協会 会長 村田 雄二 様
コーディネーター：浜松医科大学 地域医療学講座 特任准教授 松井 務 様



第20回 地域医療支援ネットワーク協議会を開催しました

令和4年1月21日(金)14時00分から、掛川グランドホテルにおいて、県内の地域医療を育む住民グループ、浜松医科大学地域医療学講座主催による地域医療支援ネットワーク協議会を開催しました。

- 議題：県政さわやかタウンミーティング
県からの行政説明『『人生会議』普及・啓発に係る取り組みについて』
静岡県健康福祉部 医療政策課長 高須 徹也 様

- 意見交換：当会の意見（概要）

「当市では、家庭医療センターが開設され、在宅医療にも積極的に取り組まれて大変ありがたいですが、まだまだ在宅医療を実施してくれるお医者さんが少ないと思われます。そこで、現状の各市町村での在宅医療体制を見える化していただき、夫々の地域で認識すると同時に、競争し合う事と共に県から弱い地域への支援も必要と思います。」

「当市消防署の救急搬送について、各地域で医療がひっ迫している中、地元病院の受け入れ件数が改善されていることは非常に嬉しいですが、中東遠地域以外への搬送が十数パーセントあるようです。中東遠地域の医療スタッフが増加するような活動が必要だと思いますので、県に是非ご支援をお願いしたいものであります。」
「中東遠地域の医療を最大限に活かすためにも、調整機能を持ったセクションが必要ではないかと思えます。」

- 各会の活動報告：島田市地域医療を支援する会 『島田市地域医療を支援する会の活動概要』
浜松医科大学地域医療学講座 『地域医療を育む住民活動の在り方を考える』

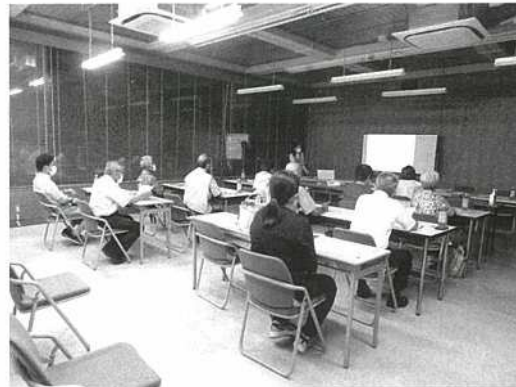
AEDの取り扱い、 心肺蘇生法の講習会を開催しました

令和3年4月28日(水)役員会終了後、当会会員の松井敬宏さん、菊川市消防署の山本まさのりさんによる講習会を開催しました。



くすりの勉強会を開催しました ～ジェネリック医薬品は、自己負担の軽減だけでなく 医療費全体の抑制にもつながります～

令和3年7月28日(水)総会終了後、会員のききょう薬局薬剤師の小湊順子さんによる勉強会を開催しました。



御前崎市地域医療を育む会紹介、会員募集

発足 2013年4月

会員 242人 + 16事業所 (2022年3月現在)

主な活動

- ・市立御前崎総合病院での感謝のメッセージの掲示
- ・5つの“か”出前講座、講演会の開催
- ・地域医療シンポジウム、医療と介護のシンポジウムの開催
- ・小・中学生の医療見学体験講座の開催
- ・会報発行、病院祭参加、大産業まつり出店



御前崎市マスコットキャラクター
なみまる・ふうちゃん

私たちの活動の特長

主人公になる

地域医療を育む主人公の一人になる

- ・「ありがとう」を医療スタッフへ伝えていきます
- ・住民を対象とする出前講座を開催しています

つながる

みんなでネットワークをつくる

- ・毎年、中東遠の仲間グループと共同でシンポジウム等を開催しています

つなぐ

地域医療を育む心を次代に伝える

- ・市内の小・中学生を対象にし、次世代の地域医療を担う人材を育て体験講座を毎年開催しています

地域医療について一緒に勉強したり、考えたりしてみませんか？

関心のある方、是非仲間になって一緒に活動しましょう！

入会をご希望の方は、事務局へご連絡ください。お待ちしております！

事務局

代表 阿形 操

TEL 86-3718

協賛会員の皆様

中部電力(株)浜岡原子力総合事務所、東芝エネルギーシステムズ(株)、(株)フェイス、共栄企業(株)、(株)松本印刷、(株)増田組、いそかぜ、おはな助産院、タクミ建設(株)、タクミ企画(株)、静岡銀行御前崎中央支店、遠州夢咲農業協同組合、島田掛川信用金庫、(福)賛育会 東海清風園、まつい鍼灸治療院、御前崎白百合保育園 (順不同・敬称略)

入会申込書

私は、御前崎市地域医療を育む会の目的に賛同し、入会致します。

年 月 日

住所		氏名	
電話		FAX	
会費	一般会員 年500円	協賛会員(事業所) 年1口1,000円以上	入会金なし

● 入会申込書は、FAX 0537-86-3718 (阿形宛) でも受付できます。